

第30回日本テニス学会および2018アジア太平洋コーチング学会発表報告 「テニス選手のアンフォースドエラーの原因に関する研究: 対戦相手及び日本とオーストラリアとの比較について」

平田 大輔 (文学部教授)

学会発表

1 平成30年6月1日～2日 専修大学
第30回日本テニス学会
「大学テニス選手のアンフォースドエラーの原因に関する研究: 種目別・対戦相手の評価について」

要約

アンフォースドエラー (以下: UE) の原因についてシングルスとダブルスでは人数が異なるだけでなく、それにもない戦術・戦略が異なる状況であること、また対戦相手の評価によってもUEの原因が異なることが考えられることから本研究では、種目別・対戦相手の評価によるUEの原因を明らかにした。

結果、男子選手 (図1) では格下相手に注意散

漫になりやすく、結果準備動作の遅れにつながっていることから心理的な問題が考えられることから格下相手であっても油断することなくプレーすることが求められる。女子選手 (図2) では格上相手準備動作の遅れが原因となっていることから物理的な問題、すなわちショットを打つための準備動作を早くする必要がありますことが明らかになった。

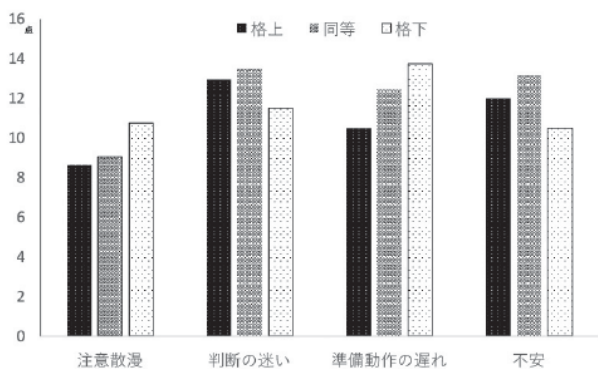


図1 対戦相手によるアンフォースドエラーの原因の比較 (男)

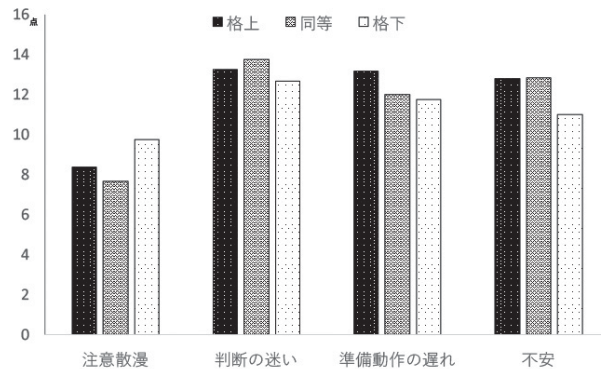


図2 対戦相手によるアンフォースドエラーの原因の比較 (女)

2 平成30年10月23日～25日 韓国体育大学
Asia-Pacific Conference on Coaching Science
「Examination of causes of unforced-errors in Australian tennis players and Coaches」

要約

ATPランキングと過去20年間に開催された国際トーナメントについて日本とオーストラリアを比較した結果、オーストラリアはトーナメントを早い段階から経験することができるシステムと教育を行っている。日本では国際大会の数を多くすることによる選手強化を行っている。このように日本とオーストラリアでは同じ島国でありながら異なるシステムで選手

強化を行っている。そこで本研究では強化方法が異なる2つの国によるアンフォースドエラーの原因の構造について選手と指導者の比較から明らかにした。日本とオーストラリアではUEの原因の因子構造が異なっていることが明らかになり (Fig3)、特に日本ではUEの原因は判断・決定でのエラーによるものと考え、オーストラリアでは認知・予測によるものと考えていることが明らかになった (Fig 4)。

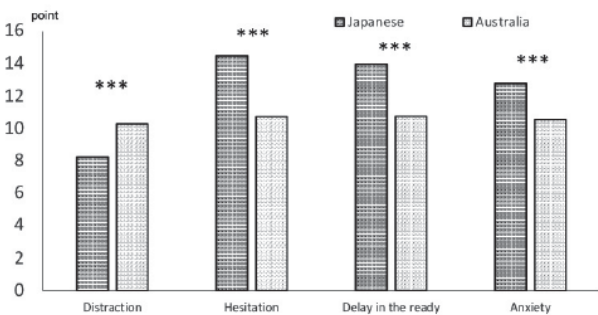


Fig.3 To make comparison Japanese Players and Australian Players ***p<.001

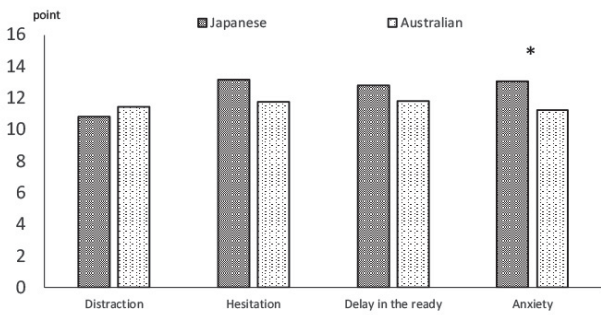


Fig.4 To make comparison Japanese coaches and Australian coaches *p<.05